

特別支援教育マスター指標：

管理職として特別支援教育に関して身に付けるべき資質能力を3つの観点に分けて示した。

- キャリアステージ別の指標
 - ② 管理職（校長・副校長・教頭）

観点	キャリアステージ	副校長・教頭 キャリアの充実	校長 キャリアの完成
マネジメント力 (学校経営力、人材育成力)		学校経営計画の重点項目を具現化し、特別支援教育の視点を取り入れた校内研修を推進し、評価と改善に導く具体的な指導ができる。	学校経営計画の重点項目に特別支援教育の視点を明示し、特別支援教育力の向上を目指した実践的な校内研修や校内委員会を運営する。
		障害による困難さについて、確かな理解力と豊富な経験を生かし、就学も含めた適切な指導ができる。 各種教育施策や制度を正しく理解し、学校経営において活用する。	
連携推進力 (保護者、関係機関との連携を推進する行動力)		校内委員会の有機的な運営を推進し、できうる環境整備や合理的配慮を提案するとともに、相談窓口として保護者や関係機関との連携を一層推進する。	保護者や特別支援学校、福祉機関等とのつながりを密にした連携体制を構築し、校内外の支援体制強化の責務を果たす。
子供理解力 (観察やアセスメントに基づく実態把握)		多面的かつ適切な実態の把握と検査結果等の活用で、障害による困難さと教育的ニーズを把握し、支援の方向性等を助言できる。 個別の指導計画の作成状況を確認し、適宜妥当性を評価できる。	